

令和 2 年度 コミュニティからのご意見

岡田 コミュニティ

ご意見 1	<p>記録的大雨時における防災拠点の機能移転について</p> <p>防災の拠点である市役所や消防本部は、土器川洪水浸水想定区域に入っています。想定される大雨が降ると消防車や救急車が出動できないような事態も考えられます。そこで、最大規模の大雨が想定される場合には、防災拠点を交通の便のよい高台へ移転すべきです。ところが、市立体育館や県立陸上競技場も金倉川の洪水浸水想定区域に入っているため使用できません。</p> <p>旧丸亀市であれば 11 号線に近い南中学校、飯山綾歌地区であれば 32 号線沿いの綾歌市民総合センター等にサブ防災拠点を設けるといった機能移転対策をとっておくべきだと考えます。</p> <p>(回答)</p> <p>拠点とは、災害時の本部又は支部機能が置かれているところや消防など救急機能が備わったところであり、本市で防災の拠点となる市役所や消防本部は想定最大規模降雨では、0.5m未滿の浸水が予想されていますが、機能がまひするほど大きな損害を受けないと考えています。</p> <p>また、現在も綾歌・飯山市民総合センター及び郡家分署、飯綾消防は災害時の拠点となる施設であり、分散配置できており、それらの施設と連携して適切に災害対応していきたいと考えております。</p>
ご意見 2	<p>市内への移住促進策、人口増加策について</p> <p>町の発展のためには人口の増加は最も基本的な要素であると考えます。若い人や子どもが多い町は活気あふれています。</p> <p>丸亀市は、これからも少子高齢化が進むと考えられるだけに、人口増加策、移住促進策をとる必要があります。</p> <p>空き家の利用促進を考えると同時に丸亀市への移住促進を図り、活気ある丸亀市になっていくよう期待します。</p> <p>(回答)</p> <p>丸亀市では、平成 27 年度から「丸亀市未来を築く総合戦略」に基づき、人口減少の克服や地域活力の向上を目指す取組を推進しています。</p> <p>具体的には、自然増や社会増を目指して、本市で子どもを産み育てたいと思える環境整備のほか、一旦は外に出ても戻ってくる人や、新しく本市に移り住みたいと思ってくれる人を増やす取組などを推進しているところです。</p> <p>中でも移住促進策につきましては、香川県と連携しながら、一定の条件の下ではありますが、県外からの移住者に対して家賃補助を行ったり、東京圏からの移住者に対する移住支援金の給付を行ったりしています。また、空き家の利活用につきましては、島しょ部におきまして、空き家のリフォーム補助を行っております。</p> <p>本市といたしましては、今後も、これらの事業をはじめとする「丸亀市未来を</p>

	<p>築く総合戦略」に沿った取組を推進しながら、人口減少を抑制し、活気あるまちづくりを進めてまいります。</p>
<p>ご意見 3</p>	<p>讃岐中央自然エリア（仮称）構想の提案</p> <p>丸亀市は香川県の中央に位置し、南には多くのハイカーに愛される綾歌三山があり、丸亀平野にはランドマーク的な讃岐富士が多くのため池を見下ろしています。その間を一級河川である土器川が流れています。北部には丸亀城を中心とした城下町があり、商業都市の形を整えています。さらには、瀬戸内海には瀬戸内国際芸術祭にも紹介される島々が点在しています。</p> <p>このように、丸亀市は山、川、平野、ため池、城、海、島といった多くの自然財産をもっています。与えられた多くの自然財産を個々にではなく包括的に有効に活用すべく、丸亀市の魅力を国内外へどんどん情報発信していくことを願っています。</p> <p>（回答）</p> <p>ご提案にありますように、丸亀市には、丸亀城をはじめとする歴史的文化遺産や、飯野山、綾歌三山、一級河川の土器川、瀬戸内海に点在する塩飽諸島など、豊かな自然遺産に恵まれています。</p> <p>近年は、SNS での拡散によって、一躍人気スポットとなる事例も見受けられます。本市においても、多くの人に丸亀市が誇る自然と文化を認知していただけるようにInstagram公式アカウント「マルカメラ」を提供しております。また、市ホームページでは、観光スポットや歴史・文化財、丸亀の里山等の見どころを掲載したり、PR 動画を作成して配信しております。個々の観光資源の持つ魅力を認識していただくことが、丸亀市の魅力発信に繋がっていくと考えております。今後も、SNS を有効に活用し、丸亀市の魅力を国内外へ積極的に発信していきたいと考えています。</p>